

5月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川：左右岸 6.2km～17.8km 管轄出張所：豊川流域治水出張所
実施日		実施区間	吉田大橋～賀茂橋

5月も順調に雨が降り、3月までの湯水が嘘のようだ。三上橋のたもとに設置されていた緊急取水設備も撤去された。当初は5月末まで設置の予定だったはずだが、4月からすでに稼働しておらず、予定より早く撤去されることになったようだ。むろんその方がありがたいのだが。



大村水防倉庫付近の堤防道路で数年ぶりにヤセウツボを見つけた。

ヤセウツボはハマウツボ科の外来植物でマメ科、キク科、セリ科など、幅広い植物に寄生する。ここではおそらくムラサキツメクサに寄生しているものと思われる。ヤセウツボは完全寄生の植物なので、宿主が寄生によって亡びてしまうと共倒れしてしまう。しかし、種子は土中に休眠し、寄生主が復活すると再び成育する。しかし、ムラサキツメクサは毎年花を咲かせていたことを考えると、最近見なかったのは別の原因があると考えられる。

ヤセウツボの仲間にはハマウツボがある。ハマウツボはカワラヨモギにのみ寄生する。愛知県ではカワラヨモギ自体が希少なため、ハマウツボは伊良湖岬手前の西の浜でしか成育しておらず、愛知県の絶滅危惧種に指定されている。



ところが、ヤセウツボは寄生主が多い（ある意味節操がない）ため、絶滅の心配とは無縁である。それどころか、海外では農作物への寄生により被害も発生しているそうだ。外来生物法では要注意外来生物に指定されている。

復活したからといって喜んでいいのやら。なかなか微妙な気分である。